

小さな親切行動について考える

—大学生のアンケート調査より—

Kindness of student

三橋真人

MITSUHASHI Mabito

帝京平成大学

TEIKYO HEISEI University

Key words: 小さな親切, 援助行動, 向社会的行動尺度

目的

自分のちょっとした行動が誰かの喜びや快適さにつながると分かりつつも、実際その場面に遭遇するとなかなか実行に移せないのが「小さな親切」である。その中でも特に実践するのが難しいと思うものを調査したところ、次のようなデータがある。

表1 実際その場面に遭遇するとなかなか実行に移せない「小さな親切」

1位	公共の場で騒いでいる人を注意する
2位	本人が気づいていない恥ずかしいことをこっそり教える(ファスナーが開いているなど)
3位	お年寄りの手を引いて横断歩道を渡

公共の乗り物や町で、若者のマナーが指摘されている。しかし、果たしてそうなのであろうか。大学生に対して「小さな親切行動」尺度を用い、大学生の援助行動を明らかにする。

方法

対象者：A大学薬学部薬学科1年生183名。

調査期間：2013年9月30日、授業の冒頭時間15分。

手続き：質問紙法を用いて、質問項目は菊池（1988）の「向社会的行動尺度」¹⁾を用いた。

1) 質問項目

1. 列に並んでいて、急ぐ人のために順番をゆずる。2. お店で、渡されたおつりが多かったとき、注意してあげる。3. ころんだ子どもを起こしてやる。4. あまり親しくない友人にもノートを貸す。5. 気持ちが悪くなった友人を、保健室などにつれていく。6. 友人のレポート作成や宿題を手伝う。7. 列車などで相席にお年寄りの話し相手になる。8. 気持ちの落ち込んだ友人にデンワしたり、手紙を出したりする。9. 何か探している人は、こちらから声をかける。10. バスや列車で、立っている人に席を譲る。11. 酒に酔った友人などの世話をする。12. 雨降りるとき、あまり親しくない友人でもカサに入れてやる。13. 授業を休んだ友人のために、プリントなどをもらう。14. 家族の誕生日や母の日などに、家にデンワしたりプレゼントしたりする。15. 見知らぬ人がハンカチなどを落としたとき、教えてあげる。16. 知らない人に頼まれて、カメラのシャッター押しをしてやる。17. バスや列車で、荷物を網棚にのせてあげる。18. 知らない人が落として散らばった荷物を、一緒に集めてあげる。19. ケガ人や急病人が出たとき、介抱したり救急車を呼んだりする。20. 自動販

売機や切符売機などの使い方を教えてあげる。

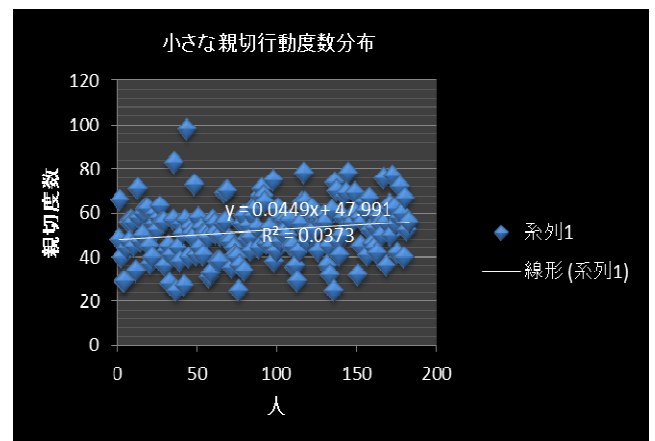
*以上の質問項目について、5件法で解答させ、したことがない1点、1度したことがある2点、数回したことがある3点。しばしばした4点、いつもした5点とし、20項目の得点を単純加算する。従って、得点可能範囲は20点~100点である。

倫理的配慮

1. 本アンケートは回答したくなければ断ることができることを口頭で説明し、2. 本アンケートの参加の有無が、成績と関係するものではないことを口頭で説明し、3. 個人の特定がされないように無記名とし、4. データは、本研究以外に使用しない旨を口頭で約束した。5. データは研究発表終了後、シュレッターで廃棄することを口頭で説明した。6. 研究報告終了後、研究結果を協力者にフィードバックすることを約束した。

結果

大学生(n=183)の尺度得点の平均値は52.1点であった。



考察

今回、尺度得点の平均値は、52.1点であった。この平均値は、菊池が1988年に「向社会的行動尺度」を開発し、大学生(n=274)に調査した時の平均値53.1点と1点しか変わらない。若者の小さな親切行動は25年を経てもほとんど変化していないと考えられる。

参考文献

菊池章夫 1988 向社会的行動尺度 堀洋道監修、吉田富二雄監修 心理測定尺度集Ⅱ 2001 サイエンス社